

# Step1

**Why** なぜリスクリングするのか目的を決める

## 4つの環境変化に着目

### デジタル環境

デジタル化の進展により  
業務プロセスが変わり対応が必要

### バーチャル環境

リモート環境での  
ワークスタイルの適応

### ダイバシティ環境

さらなる多様性の中で、リーダーシップ  
やコミュニケーションを適応させる

### VUCAの時代環境

VUCAの時代になり  
ビジネスモデルが激変する可能性

# 様々なリスキリングの目的

- ✓ DX戦略を推進させる
- ✓ イノベーションを促進させる
- ✓ 新たなビジネスモデルに対応する
- ✓ 高齢化に伴うスキル不足を補う
- ✓ 未来に向けたサクセッションプラン
- ✓ 競争に差別化されない
- ✓ 離職の防止

e.t.c.



## Step 2

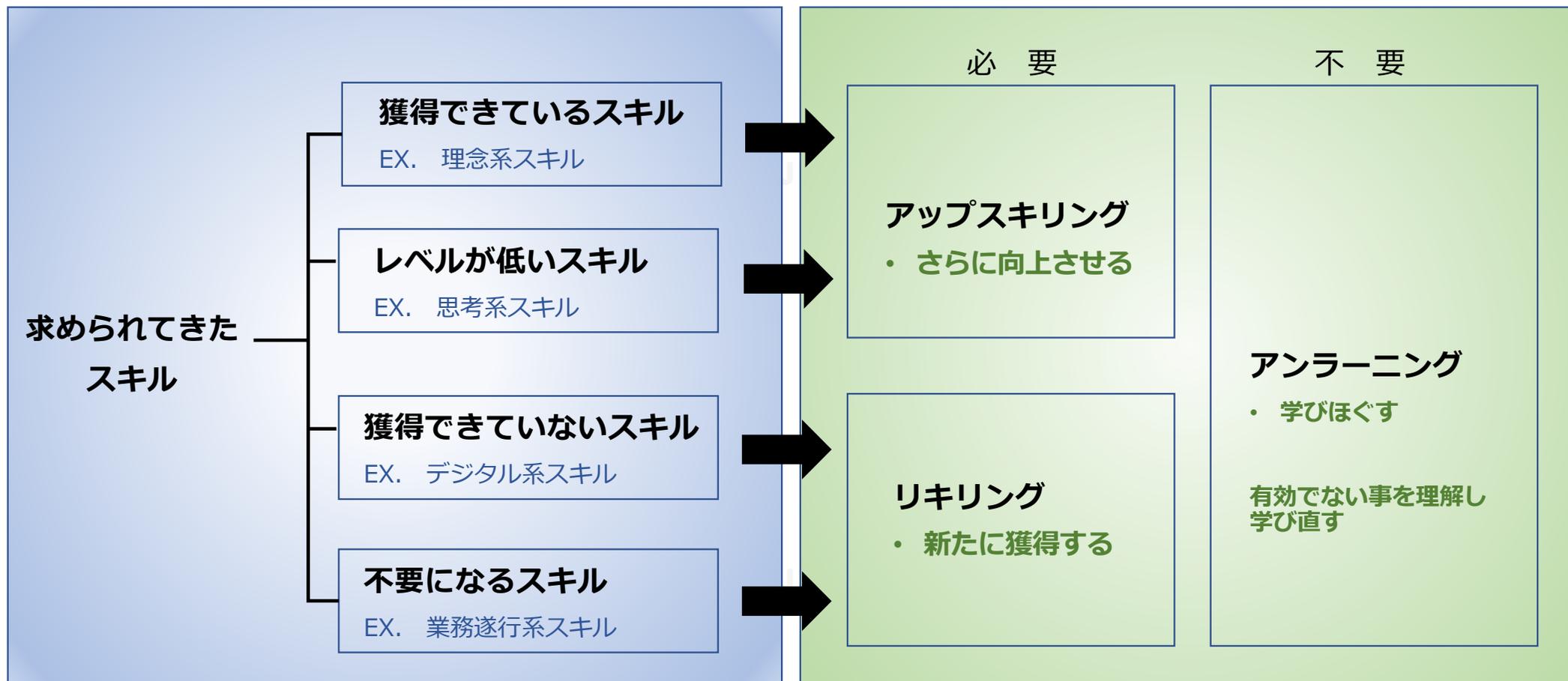
**Analysis** 現在のスキルを把握する

# スキルインベントリー

JINZAILAB 今のビジネスモデル

JINZAILAB

将来のビジネスモデル



## Step 3

**What** 何をリスクリングするのかを決める

## リスクリング項目を4つの枠組みから選択する

## 修正

アップデート

今までスキルを修正、  
バージョンアップする

## 交換

アンラーニング

今までスキルを捨てて  
新たなスキルを獲得

## 追加

アドオン

今までスキルに加えて  
新たなスキルを獲得

## 強化

アップスキル

今のスキルをさらに  
磨いて断トツにする

# 注目される背景

意識・行動面を含めた仕事に必要な能力の移り変わり

## 56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル <sup>※</sup>	1.09
意欲積極性	1.09
⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル



2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性 <sup>※</sup>	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル：口頭	1.08
科学・技術	1.07
柔軟性	1.07
⋮	⋮

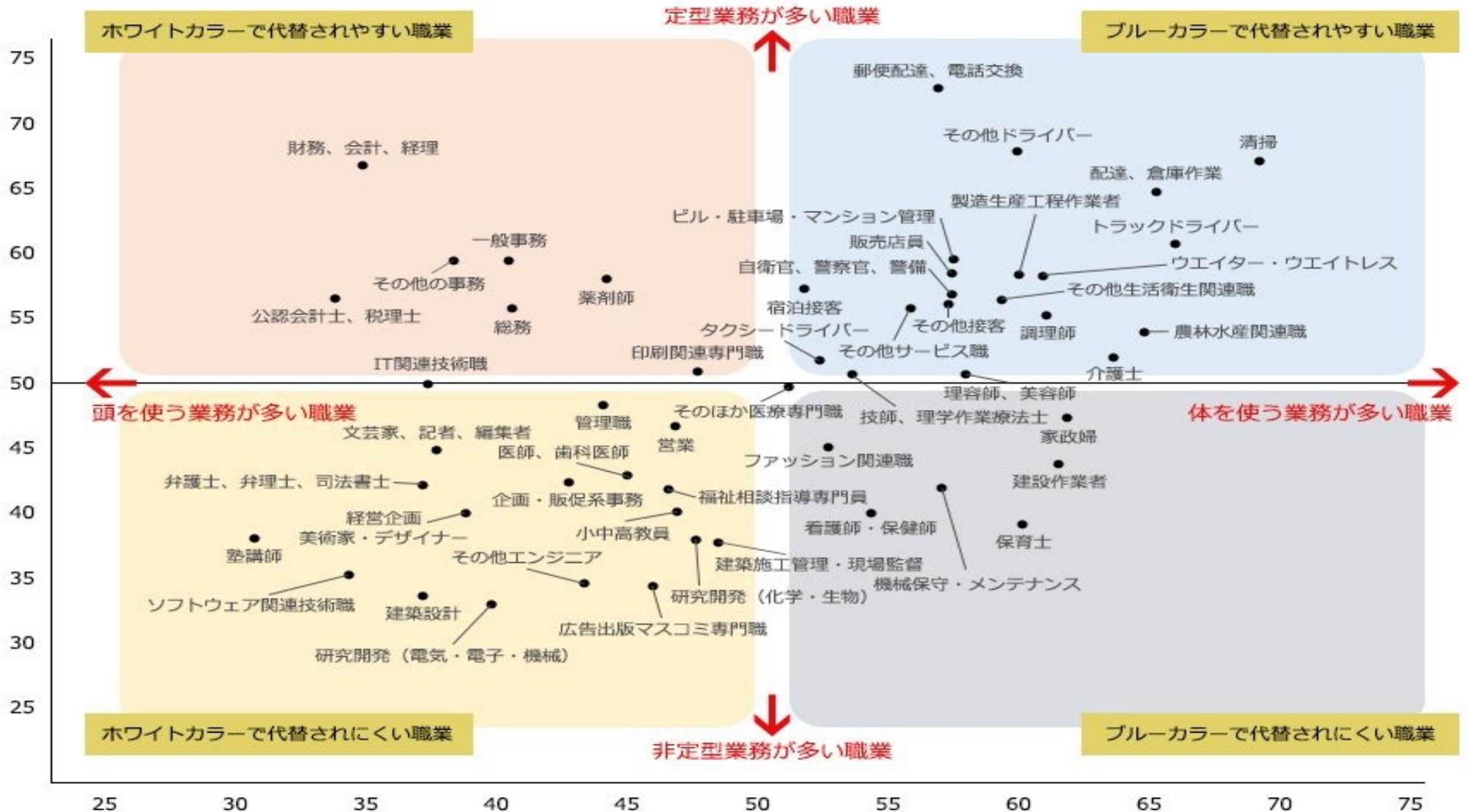
※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

## Step 4

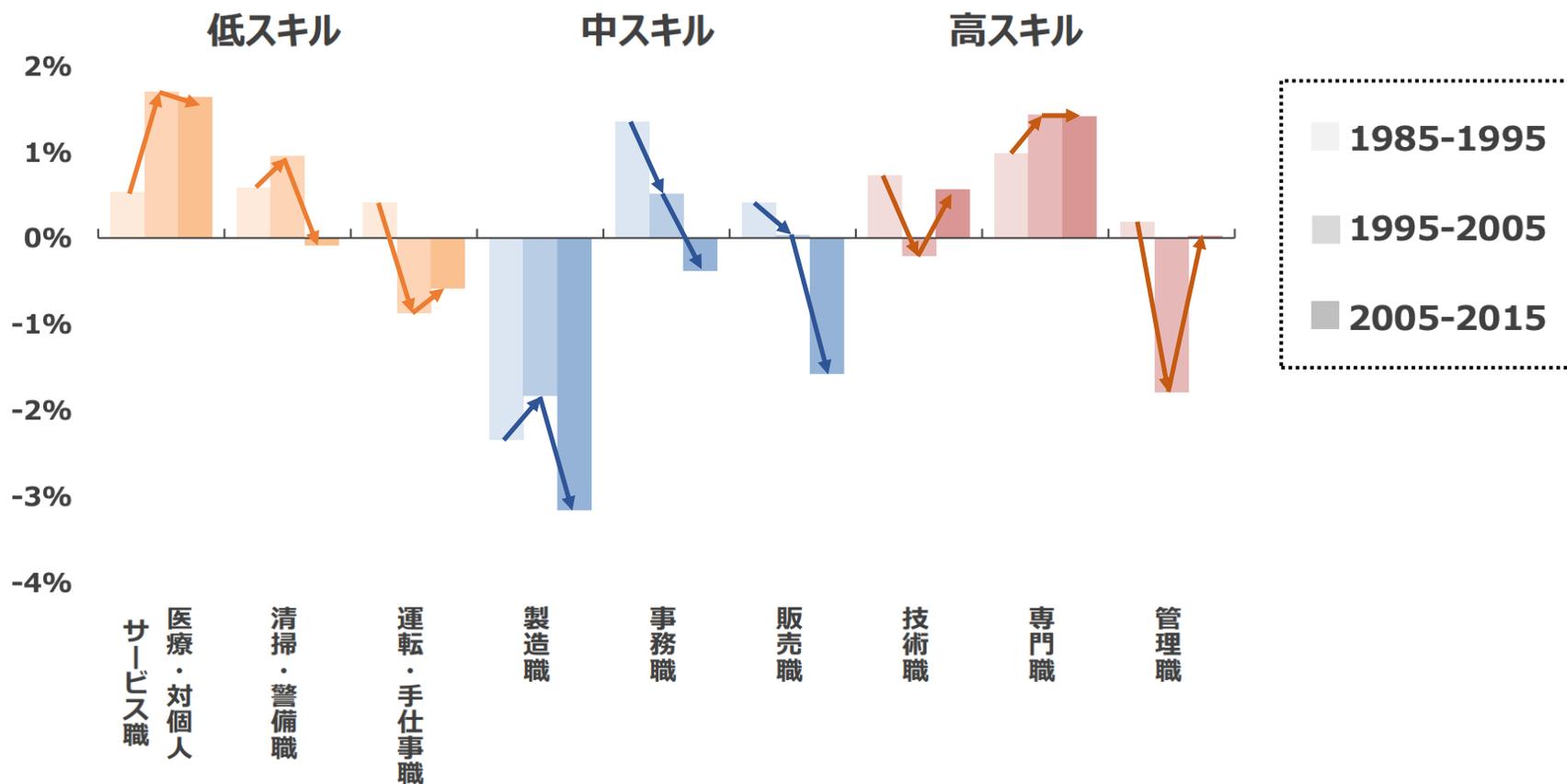
**Who** 誰のためのリスクリングなのかを定める

# A I に代替されやすい職業、されにくい職業

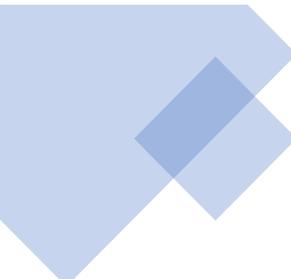
引用：DAIMOND Online <https://diamond.jp/articles/-/254815>



## 日本における職業別就業者シェアの変化



労働需要推計：経済産業省「未来人材ビジョン」令和4年5月



目指すべき高成長シナリオでは、2050年において、  
特徴のはっきりした労働需要の変化が確認された。

「職種」・・・ 事務従事者 42% **減少**

販売従事者 26% **減少**

情報処理・通信技術者 20% **増加**

開発・製造技術者 11% **増加**

「産業」・・・ 卸売・小売業 27% **減少**

製造業 1% **減少**

労働需要推計：経済産業省「未来人材ビジョン」令和4年5月



## Step 5

**How** どうやってリスキリングするのか

## How どうやって

- 新たな研修やセミナーに参加させる
- OJTで体験させる
- 外部セミナーに参加させる

- 
- 個別学習の機会
  - マイクロラーニング短時間で少しずつ
  - オンラインラーニングで幅広い対象者へ



ラーニングテクノロジー  
の得意分野